

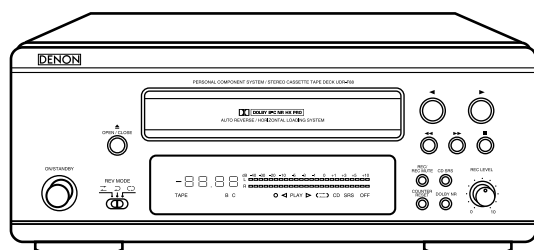
DENON

取扱説明書

UDR-F88

STEREO CASSETTE TAPE DECK

ステレオカセットテープデッキ



目次

はじめに	1 使用上のご注意.....2～5
	2 著作権についてのご注意.....5
	3 取り扱い上のご注意.....6
準備	4 録音・再生の前に.....7
	5 接続のしかた.....8
	6 各部の名前とはたらき.....8
操作	7 カセットテープの再生のしかた.....9、10
	8 カセットテープの録音のしかた.....10、11
その他	9 保証とサービスについて.....裏表紙
	10 主な仕様.....裏表紙

本機のシステムコネクター（ミニプラグコード）は、F88、F07、F10シリーズ専用です。F88、F07、F10シリーズ以外の製品と接続しますと、故障の原因となりますので接続しないでください。

プリメインアンプ（UPA-F88）を組み合わせでご使用にならないと、以下の機能は動作いたしません。本機の機能を100%生かすため、UPA-F88と組み合わせでご使用になることをお勧めします。

リモートコントロールユニット（UPA-F88に付属）による動作
システム動作

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

本体とは別に下記の付属品がついています。
ご使用前にご確認ください。

取扱説明書.....	1
保証書.....	1
コロムビアサービス網一覧表.....	1
接続コード（ピンコード）.....	2
システムコネクターケーブル.....	1

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

テープ挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一異物が入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら
アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



取り扱いについて

風呂場では使用しない
火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

花瓶やコップ、小さな金属物をこの機器の上に置かない
万一内部に水や異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

カセットテープ挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



指を挟まれないよう注意

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



置き場所について

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
湿気やほこりの多いところ
直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



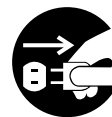
使用上のご注意（つづき）

⚠ 注意 つづき

使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

放送やCDその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

（社）日本音楽著作権協会（JASRAC）

本部	TEL.03(3502)6551
北海道支部	TEL.011(221)5088
盛岡支部	TEL.0196(52)3201
仙台支部	TEL.022(264)2266
大宮支部	TEL.048(643)5461
東京支部	TEL.03(3562)4455
西東京支部	TEL.03(3232)8301
東京イベント コンサート支部	TEL.03(5286)1671
立川支部	TEL.0425(29)1500
横浜支部	TEL.045(662)6551
静岡支部	TEL.054(254)2621
中部支部	TEL.052(583)7590
北陸支部	TEL.0762(21)3602
京都支部	TEL.075(251)0134
大阪支部	TEL.06(244)0351
大阪北支部	TEL.06(244)7077
神戸支部	TEL.078(322)0561
中国支部	TEL.082(249)6362
四国支部	TEL.0878(21)9191
九州支部	TEL.092(441)2285
鹿児島支部	TEL.0992(24)6211
那覇支部	TEL.098(863)1228

3 取り扱い上のご注意

結露現象について

結露とは
冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

結露が起こる条件は
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

設置の際のご注意

本機の上にテレビ（小型テレビを含む）や置きものなどをのせないでください。

デジタル回路を使用しているため、テレビに色ムラ・色ズレなどの妨害を与える場合があります。このような場合には、本機とテレビをできるだけ離してください。

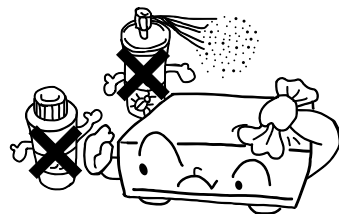
テレビの画面にしま模様が入る場合

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、しま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってください。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

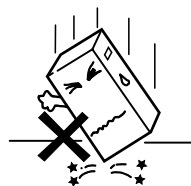
ふだん使わないとき

外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



移動させるとき

衝撃を与えないでください。
カセットテープを取り出し、必ず電源プラグを抜き取り、他のオーディオ機器との接続コードを取り外してから移動させてください。



ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

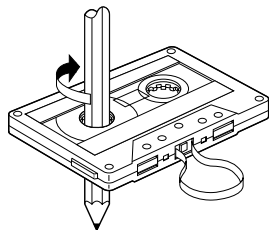
特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

4 録音・再生の前に

取り扱い上のご注意

120分以上のテープはテープ自体が薄いため、キャプスタンやピンチローラーに巻きつくおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんだままでご使用になりますと巻き込まれたり、いたむことがありますので鉛筆などでたるみをなくしてからご使用ください。



保存上のご注意

次のようなところには置かないでください。

- ・高温多湿なところ
- ・ホコリの多いところ
- ・直射日光の当たるところ
- ・磁気のあるところ（テレビやスピーカーなどのそば）

テープがたるまないようにストッパー付きのケースに入れてください。

ヘッド部のお手入れのしかた

カセットデッキを長い間お使いになると、ヘッド・キャプスタン・ピンチローラーなどテープと接する部分が汚れ、故障の原因となることがあります。このため良い音で録音・再生するためにヘッド部の清掃をおすすめします。

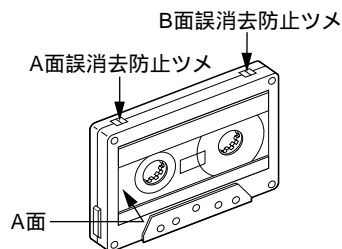
ヘッド部の清掃

10時間程度の使用を目安に定期的に市販のクリーニングカセットを用いてヘッドをクリーニングしてください。

誤消去防止について

カセットテープには、誤消去防止用ツメがついています。録音済のテープを誤って消去しないように、このツメをドライバーなどで押し込み、折り取ってください。

ツメを折ったテープを再び録音するときは、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。



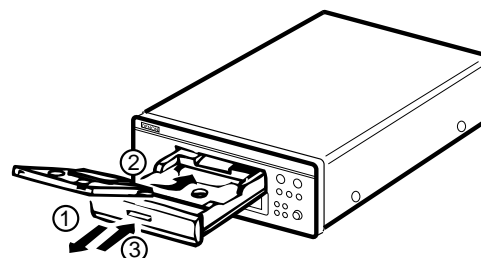
カセットテープの入れかた・出しかた

入れかた

カセットデッキの開／閉ボタン(▲ OPEN / CLOSE)を押して、カセットトレイを開きます。

テープが露出している方をセット内部に向け、下図のようにカセットトレイに入れます。

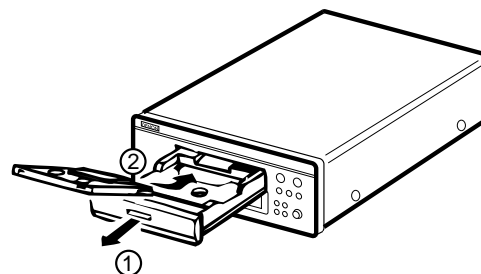
カセットデッキの開／閉ボタン(▲ OPEN / CLOSE)を押して、カセットトレイを閉めます。



出しかた

カセットデッキの開／閉ボタン(▲ OPEN / CLOSE)を押して、カセットトレイを開きます。

カセットテープを取り出します。

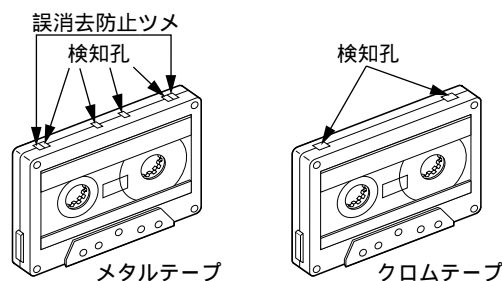


オートテープセレクト機能について

本機はカセットハーフにある検知孔によりテープの種類を検知して、それぞれのテープにあった録音バイアス、イコライザーを自動的に設定するオートテープセレクト機構を備えています。

フェリクロームテープは使用しないでください。

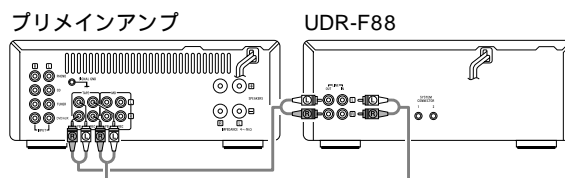
メタルテープは検知孔のついているものを使用してください。



5 接続のしかた

付属の接続コード（ピンプラグコード）で、本機とプリメインアンプを接続します。

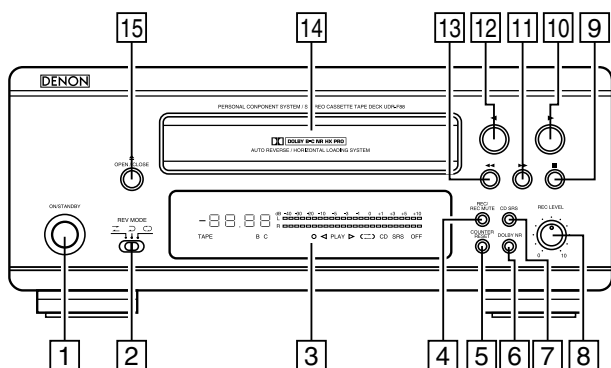
- (1) 本機の出力端子(LINE OUT)の左(L)・右(R)とプリメインアンプの入力端子(TAPE PB)の左(L)・右(R)を接続します。
- (2) 本機の入力端子(LINE IN)の左(L)・右(R)とプリメインアンプの出力端子(TAPE REC)の左(L)・右(R)を接続します。



ご注意

すべての接続が終わるまで、電源コードはコンセントに差し込まないようにしてください。
ピンプラグコードと電源コードをいっしょに束ねたり、電源トランスの近くにピンプラグコードを設置すると、ハムや雑音の原因となることがありますからご注意ください。
プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因となります。

6 各部の名前とはたらき



- 1 電源操作ボタン**
押して『ON』にすると電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態になります。
- 2 リバースモード切り替えスイッチ (REV.MODE)**
テープ走行モードを (片面モード) (両面モード) (連続モード) に切り替えます。
- 3 ディスプレイ**
- 4 レック/レックミュートボタン (REC/REC MUTE)**
録音するとき、および曲間を作るときに使用します。
- 5 リセットボタン (COUNTER RESET)**
テープカウンターを「0000」表示にすると使用します。
- 6 ドルビーNRモード切り替えボタン (DOLBY NR)**
ドルビーNR ON、BタイプまたはCタイプを選びます。

再生するときは、録音したときと同じタイプにセットしてください。

- 7 シンクロ録音ボタン (CD SRS)**
ワンタッチでCDの録音をするときに使用します。
- 8 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL)**
録音レベルを設定するときに使用します。
- 9 ストップボタン (■)**
演奏を停止させるときに使用します。
- 10 正方向再生ボタン (▶)**
テープを入れたとき、上に向けた面を再生するときに使用します。
- 11 早送りボタン (▶▶)**
テープを入れたとき、上に向けた面を早送りするときに使用します。(下に向けた面は巻き戻されます。)
▶ (正方向) 再生中に押すと、次の曲の頭出し、
◀ (逆方向) 再生中に押すと、その曲の頭出しができます。
- 12 逆方向再生ボタン (◀)**
テープを入れたとき、下に向けた面を再生するときに使用します。
- 13 巻き戻しボタン (◀◀)**
テープを入れたとき、上に向けた面を巻き戻すときに使用します。(下に向けた面は早送りされます。)
▶ (正方向) 再生中に押すと、その曲の頭出し、
◀ (逆方向) 再生中に押すと、次の曲の頭出しができます。
- 14 カセットトレイ**
カセットのテープ露出面をセット内部に向けて置いてください。
- 15 開/閉ボタン (▲ OPEN/CLOSE)**
カセットトレイを開/閉するときに使用します。

ご注意

シンクロ録音ボタン (CD SRS) はプリメインアンプ部 (UPA-F88) とCDプレーヤー部 (UCD-F88) が接続されていないと動作しません。

7 カセットテープの再生のしかた

再生のしかた

1	<p>カセットトレイを開け テープをセットします。 7 ページを参照してくだ さい。</p>
2	<p>リバーズモードを選び ます。</p> <p>片面録音 / 再生モード () 両面録音 / 再生モード () 連続再生モード ()</p>
3	<p>テープの録音状態に合 わせて、ドルビーNRを 選びます。</p> <p>ボタンを押すたびに OFF → B → C の順に切り替わりま す。</p>

4

◀ ボタンまたは ▶ ボタ
ンを押します。

押したボタンの方向に再生を始めます。
▶ 正方向 (おもて面)
◀ 逆方向 (うら面)

再生を止めるには

5

■ ボタンを押します。

早送り・巻き戻しをするとき

テープ走行が ▶ (おもて面) のとき	テープ走行が ◀ (うら面) のとき
<p>走行方向 →</p> <p>巻き戻しをする</p> <p>早送りをする</p>	<p>走行方向 ←</p> <p>早送りをする</p> <p>巻き戻しをする</p>

通常の早送り・巻き戻しは、ストップボタン (■) を押してから、早送りボタン (▶▶) または巻き戻しボタン (◀◀) を押してください。

カセットテープの再生のしかた(つづき)

再生中に曲の頭出しをするとき

『ミュージックサーチ』

次の曲、または今聞いている曲の始めから聞くことができます。(前後99曲の頭出しができます。)
途中の曲を飛び越して、聞きたい曲の頭から聞くことができます。

テープ走行が▶(おもて面)のとき

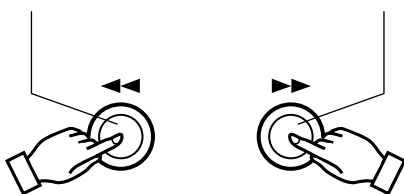
聞いている曲の始めから聞く

: 1回押す

次の曲を聞く : 1回押す

5曲前の曲を聞く : 6回押す

5曲先を聞く : 5回押す



テープ走行が◀(うら面)のとき

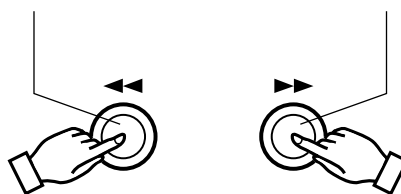
聞いている曲の始めから聞く

: 1回押す

次の曲を聞く : 1回押す

5曲先を聞く : 5回押す

5曲前の曲を聞く : 6回押す



曲の頭出しには、曲間に4秒以上の無録音部分が必要です。

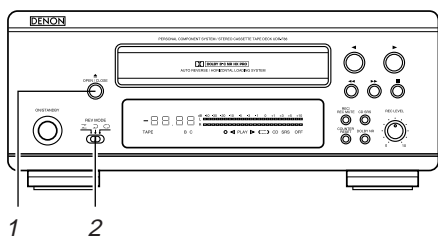
ミュージックサーチ中は、ディスプレイのテープカウンター表示部に飛び越し曲数を表示し、曲間を検出するごとにカウントダウン(例: 3曲先を頭出しする場合は P03 P02 P01)します。頭出しが終了すると表示は、テープカウンターに戻ります。

8 カセットテープの録音のしかた

録音のしかた

カセットテープに録音する前に、誤消去防止用ツメが折れてないか、お調べください。

誤消去防止用ツメが折れていると録音できません。

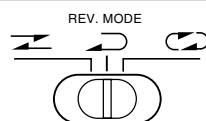


1

OPEN/CLOSE



カセットトレイを開け、
テープをセットします。
7ページを参照してくだ
さい。



リバースモードを選び
ます。

2

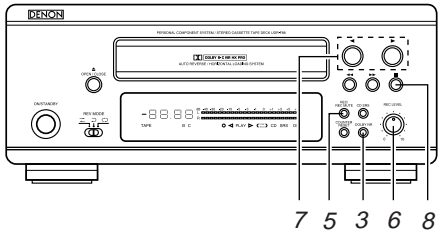
片面録音/再生モード (▶◀)

両面録音/再生モード (▶◀▶◀)

連続再生モード (▶▶▶▶)

注) 録音時にリバースモードが連続再生モード
(▶▶▶▶) に設定されていた場合、自動的に
両面録音モード (▶◀▶◀) となり、両面録
音終了後自動的に停止します。

カセットテープの録音のしかた(つづき)



7 5 3 6 8

3 DOLBY NR
ボタンを押すたびに
OFF → B → C
の順に切り替わります。

テープの録音状態に合わせて、ドルビーNRを選びます。
ドルビーNRで録音する場合は、BまたはCに合わせます。

4 アンプの入力ファンクションを録音するソースに切り替えます。

5 REC/REC MUTE
ボタンを押します。
録音待機状態になります。
ディスプレイの "●" が点灯します。

6 REC LEVEL
0 10
録音レベルを調節します。
下記の「録音レベルつまみ (REC LEVEL) の調節について」を参照してください。

7 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押します。
ディスプレイの "●" が点灯したまま押した方向に録音を始めます。

録音を中止するには

8 ■ ボタンを押します。

録音レベルつまみ (REC LEVEL) の調節について

録音レベルが高すぎると「ひずみ」の多い録音になり、低すぎると「ノイズ」の多い録音になります。録音レベルの設定は、バランスのとれた良い録音をするために最も大切なことです。

録音レベルつまみでレベルメーターの点灯具合を調節してください。

録音入力レベルの目安

TYPE- (NORMAL) テープ	0dBが点灯
TYPE- (CrO ₂) テープ	+1dBが点灯
TYPE- (METAL) テープ	+1dBが点灯

ご注意

ソースやテープの種類により録音レベルが異なりますので、試し録音をしてください。

『録音レベルの目安』で録音して「ひずみ」が発生する場合は、入力レベルを下げてください。

9 保証とサービスについて

- 1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げ店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ店または最寄りの当社営業所（コロムビアサービス網一覧表参照）が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 3 保証期間後の修理については、お買い上げ店または最寄りの当社営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 4 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ店または最寄りの当社営業所にご相談ください。

10 主な仕様

形 式	式	横型4トラック2チャンネルオートリバースステレオカセットデッキ
使 用	ド	ハードパーマロイ録音、再生ヘッドx1、ダブルギャップフェライト消去ヘッドx1
テ ー プ	ス ピ ー ド	4.75 cm/s
付 属	回 路	ドルビー-B、C NR、ドルビー-HXプロ
使 用	テ ー プ	ノーマル、クローム、メタルテープ
電 源	源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力		13W（電気用品取締法による）
最 大 外 形 寸 法		270（幅）×112（高さ）×305（奥行き）mm（フット・ツマミ・端子を含む）
質 量		3.7kg

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



ドルビーノイズリダクションおよびHXプロヘッドルームエクステンションは、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。HXプロは、バングアンドオルフセンの考案です。

ドルビー、DOLBY、ダブルD記号 **DD** および「HXプロ」は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

日本コロムビア株式会社

本 社 〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14
TEL：（03）3584-8111（大代表）

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名： 電 話（ - - ）

ご購入年月日： 年 月 日